



**HIRAKU**

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

In cooperation with Springer Nature

# 未来博士3分間コンペティション2021 応募ガイドライン

(日本語部門／英語部門共通)

1. 大会概要
2. 大会スケジュール
3. 応募プロセス
4. 発表規則・審査
5. 審査基準
6. 動画作成
7. 参考情報・その他留意事項

# 1.大会概要

## 未来博士3分間コンペティションについて

未来博士3分間コンペティションは、博士課程後期学生が3分間の限られた時間内に自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ大会です。大会を通して、自身のコミュニケーション力やアピール力の向上を図るとともに、社会における博士人材と博士研究に対する理解を広めることを目的としています。

本大会は、若手研究者の活躍や更なる成長を地域社会全体で応援するため、「[未来を拓く地方協奏プラットフォーム\(HIRAKU\)](#)」(代表機関:広島大学, 共同実施機関:山口大学, 徳島大学)事業の一環として、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学, そして多くの企業や公的機関の協力を得て、2015年以降、毎年開催してきました。今年で7回目となりますが、募集対象を日本国内の大学に在籍する博士課程後期学生に拡大し、オンラインで開催します。みなさまのご応募をお待ちしています。

**募集対象** 2021年11月3日時点で日本国内の大学に在籍する博士課程後期学生(分野を問いません)

\* 修士課程(博士課程前期)及び専門職学位課程の方は除く

**募集部門** 日本語部門, 英語部門

## 開催日・開催方法

2部門(日本語・英語)それぞれにおいて、動画審査とファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査)の2段階で開催します。まずは、エントリーをしてください。

1. エントリー 2021年7月2日開始 (エントリー締切 8月4日(水)17:00(日本時間))

2. 動画審査 2021年9月中旬 (動画投稿期間 8月17日(火)~9月6日(月)17:00(日本時間))

3. ファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査) 2021年11月3日(水・祝)

\* 両部門へのエントリーも可能です。ただし、ファイナル・ステージでは1部門のみへの進出となります。動画審査の結果を踏まえて決定されます。

\* 動画審査を経て、ファイナル・ステージには各部門10名程度ずつを選出します。

<b>各賞</b>	最優秀賞	日本語部門・英語部門 各1名	賞状, 奨学金30万円, 副賞
	優秀賞	日本語部門・英語部門 各1名	賞状, 奨学金15万円, 副賞
	オーディエンス賞	日本語部門・英語部門 各1名	賞状, 奨学金 8万円, 副賞

\* 上記各賞以外に、投稿動画の中から複数名の方に、特別協賛企業が選ぶ動画賞を授与します。

**主催** 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業「[未来を拓く地方協奏プラットフォーム\(HIRAKU\)](#)」

**特別協賛** 株式会社アカリク, 大塚製薬株式会社, コニカミノルタ株式会社, シュプリンガー・ネイチャー, 中外テクノス株式会社, テンパール工業株式会社, 東ソー株式会社, 戸田工業株式会社, 株式会社日本製鋼所, マイクロンメモリ ジャパン合同会社, マツダ株式会社

**協賛** 協和発酵バイオ株式会社 生産技術研究所, 株式会社野村総合研究所, マナック株式会社

**協力** 株式会社アカリク, シュプリンガー・ネイチャー

**大会公式HP** [https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition\\_2021/](https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition_2021/)

# 2.大会スケジュール

## スケジュール

2021年

- 11月3日(祝) ファイナル・ステージ  
(オンラインプレゼンテーション審査)  
各賞受賞者決定・表彰
- 9月下旬 ファイナリスト選出及び特別協賛企業  
動画賞 決定
- 9月中旬 動画審査
- 8月17日(火) 動画投稿開始 (9月6日(月)17:00締切)
- 7月2日(金) エントリー開始 (8月4日(水)17:00締切)



## 動画審査

- エントリーした方のみ、動画投稿可能です。
- 全ての投稿動画は、9月中旬に動画審査員がスクリーニングを行い、ファイナリストを選出します。
- 10月上旬に、ファイナリスト一覧を大会公式HPへ掲載するとともに、ファイナリストへのみ運営事務局から動画審査の結果をEメールでお知らせします。
- 特別協賛企業各社が選ぶ動画賞は、10月下旬に受賞者へお知らせし、11月3日(水・祝)に表彰します。

## ファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査)

- ファイナリストとなった発表者は、事務局が指定するアドレスにアクセスし、リモートで参加してください。
- 日本語部門と英語部門に分かれて、以下の流れで発表と質疑応答を行います。  
 オンラインプレゼンテーション 3分間：「4.発表規則・審査」、「5. 審査基準」、「6.動画作成」を参考に発表  
 質疑応答 2分間：発表をふまえ、審査員から質問します。この部分は審査対象外です。
- ファイナル・ステージでの発表内容が投稿動画と異なっても構いません。ただし、発表タイトルと使用スライドは、動画投稿時に登録した内容から変更不可です。
- 大会当日は、使用スライド1頁を必ずZoomバーチャル背景として設定し、発表してください。
- 大会当日は、「4.発表規則・審査」に記載の審査員会により、部門別の最優秀賞及び優秀賞、オーディエンスの投票によるオーディエンス賞を決定します。

<参考>ファイナル・ステージ プログラム(予定) \*下記プログラムなどの詳細は、変更になることがあります。

2021年11月3日(水・祝)

<英語部門> \*日本時間

10:30 オープニング

10:40 オンラインプレゼンテーション

11:40 発表者によるパネルトーク

12:10 クロージング

12:30 英語部門大会終了

<日本語部門> \*日本時間

14:30 オープニング

14:40 オンラインプレゼンテーション

15:40 発表者によるパネルトーク

16:10 クロージング

16:30 日本語部門大会終了

\*日本語部門終了後、両部門のファイナリストと審査員などが参加するオンライン懇親会を開催する可能性があります。

# 3.応募プロセス

## 1. エントリー **\*エントリー締切 2021年8月4日(水)17:00(日本時間)**

発表を希望する部門を選択し、以下のURLからエントリーしてください。

日本語部門及び英語部門の両部門へのエントリーも可能ですが、ファイナル・ステージでは一部門のみへの進出となります。ファイナル・ステージでの発表部門は、動画審査の結果を踏まえて決定されます。

日本語部門 [エントリーフォームはこちら](#)

英語部門 [エントリーフォームはこちら](#)

\*エントリーが完了した方については、順次運営事務局よりEメールでご連絡します。その際、ご所属の確認などのために、エントリーフォームで登録いただく指導教員もEメールに同報する場合があります。

## 2. 動画投稿 **\*動画投稿締切 2021年9月6日(月)17:00(日本時間)**

エントリーが完了した方には、8月17日(火)頃にEメールで、動画投稿フォーム(URL)をご連絡します。

\*エントリーした方のみ、動画投稿可能です。

\*ファイナリスト及び特別協賛企業動画賞受賞者の投稿動画は、大会公式HPなどに掲載予定です。

### 動画投稿に際しての準備・注意事項

動画投稿フォームに入力・アップロードいただく情報のうち、事前準備が必要なものは以下のとおりです。

- **グーグルアカウント** 動画投稿フォームへアクセスするためには、グーグルアカウント(ログイン)が必要となります。アカウントをお持ちでない方は、まずアカウント登録をお願いします。
- **発表タイトル** 日本語タイトル→25文字程度以内、英語タイトル→12単語程度以内
- **自己PR** 日本語→300字程度以内、英語→150単語程度以内  
ご自身の目標、こだわり、強みなどのアピール・ポイントを簡潔に記載してください  
[\\*過年度発表者の自己PR記載例はこちら](#)
- **顔写真** 顔がきちんと分かるもの、JPEG形式、サイズ幅228×高さ300ピクセル以上
- **動画** 「4.発表規則・審査」、「5. 審査基準」、「6. 動画作成」を参考に3分間の発表動画を作成し、YouTubeへアップロードした後、そのアドレスを登録してください。
- **スライド1頁** 発表を効果的に演出することができるスライド1頁(JPEG形式 16:9 横)

### 登録情報の大会公式HP・プログラム冊子への掲載 **\*ファイナリスト及び特別協賛企業動画賞受賞者のみ**

1. エントリー時、2. 動画投稿時に提供いただく情報のうち、以下の情報は大会公式HPやファイナル・ステージ用のweb配布プログラム冊子に掲載しますので、予めご承知おきください。

- 所属(研究科情報含む)
- 顔写真
- 氏名
- 発表タイトル
- 学年
- 自己PR

# 4.発表規則・審査

## 発表規則

発表規則は、動画審査及びファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査)共通です。

- プレゼンテーションは3分間です。発表者が動作や口頭での発表を始めた時点を開始時間とみなします。(大会当日、3分を超えた場合は強制終了となります。)
- 小道具(衣装・楽器・研究器具など)は使用不可です。
- プレゼンテーションの進行は口語体で行ってください(詩やラップ、歌などは不可)。
- スライドは1頁(16:9 横)のみ使用可能です(静止画のみ、アニメーション・音楽・映像ファイルなどは不可)。
- スライドの作成にあたっては、著作権や肖像権などに注意し、必要な場合は出典を明記してください。応募締切以降の差替えはいたしませんので、期限を厳守してください。
- 発表内容及びスライドについては、公表可能な範囲の内容であることを、事前に指導教員などに確認してください。発表内容に係るトラブルなどについては、運営事務局では責任を一切負いません。

## 審査

### 1. 動画審査

動画審査員(複数名)が、応募者が投稿した3分間発表動画をスクリーニングし、ファイナル進出者を決定します。また、特別協賛企業各社が投稿動画の中から動画賞を決定します。

\*応募者多数の場合、ファイナリストの選出にあたり、地域ブロック毎に審査を実施する予定です。

### 2. ファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査)

プレゼンテーション審査委員会が最優秀賞及び優秀賞を決定します。また、事前に申し込みをしたオーディエンス(一般、大学・企業関係者など)のオンライン投票により、オーディエンス賞が決まります。

#### プレゼンテーション審査委員会

日本語部門・英語部門それぞれに、国内外の大学・企業関係者、有識者などから構成される審査委員会を設置します。

審査委員会の詳細については、以下URLへ掲載し、順次情報を更新していきます。

[https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition\\_2021/judgingpanel/](https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition_2021/judgingpanel/)

# 5. 審査基準

## 1. 動画審査

動画審査は、以下の観点から総合的に評価を行います。なお、以下の基準は豪州クイーンズランド大学の3MT審査項目を参考にしています。

\*3MTとは・・・オーストラリアのクイーンズランド大学で始まり、現在は少なくとも85カ国900校以上の大学で実施されています。

<研究の魅力について>

- 発表タイトル及びスライドは明確かつシンプルで、プレゼンの魅力を引き出している
- 研究の背景や意義に対する理解を促し、リサーチ・クエスチョンの重要性を明示している
- 研究への熱意が伝わるとともに、もっと研究内容を知りたいと思わせる発表となっている
- プレゼンは、研究のインパクトや結果(結論、アウトカム等)を明示している

<コミュニケーションについて>

- 専門用語の使用を避けるなど、専門外の人にも分かりやすい適切な表現で語られている
- バランス良い構成で、論理的かつ分かりやすい流れで説明している
- 研究内容を単純化・一般化しすぎないように注意している
- アイ・コンタクト、声のトーンやスピードなど、舞台上での存在感がある

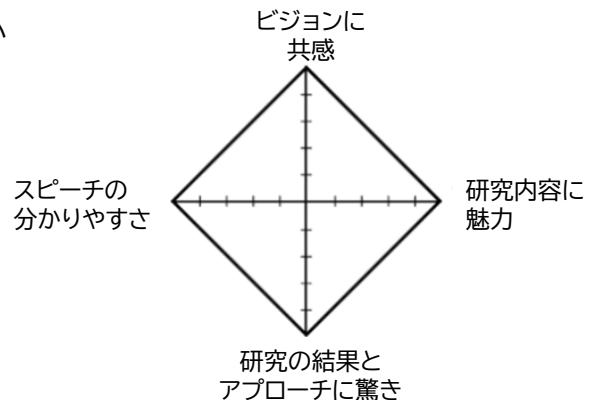
## 2. ファイナル・ステージ(オンラインプレゼンテーション審査)

プレゼンテーション審査員会では、上記動画審査の審査基準に基づき審査します。

\*質疑応答は、審査対象外です。

なお、オーディエンス(一般、大学・企業関係者など)は、主として次の基準に基づき投票を行います。

- 研究のビジョンと重要性は伝わったか、共感できたか
- 研究の内容に魅力を感じられたか、ワクワク感じられたか
- 研究の結果とアプローチは新鮮だったか、驚きがあったか
- プレゼンテーションは一般の人にも分かりやすかったか



# 6. 動画作成

「4.発表規則・審査」、「5. 審査基準」、「6.動画作成」を踏まえて、動画を作成してください。動画の作成に際しては、Zoomバーチャル背景使用を奨励していますが、ご自身に合った方法や使いやすいツールで準備することも可能です。ただし、11月3日の大会当日は、使用スライド1頁を必ずZoomバーチャル背景として設定し、発表していただく予定です。

## 良い例

①Zoomの背景(フルスクリーンもしくは背景の一部)に使用スライド(16:9 横)を設定し、自分の立ち位置を調整したうえで撮影する。  
スライドの図や文字がはっきりと見えていること、表情がはっきりと分かることにも注意。

②先に動画を撮影し、後からスライドと合成する。もしくは、物理的に背後にモニターやスクリーンを置いて発表録画することも可能。  
スライドの図や文字がはっきりと見えていることや、表情がはっきりと分かることにも注意。

<動画作成・編集ツール 参考>

・KAPWING  
・VideoPad(NCH) など



## 悪い例



スライドが小さく見えにくい  
表情が分かりにくい

- 動画開始時からではなく、発表者が動作や口頭での発表を始めてから終了までの制限時間が3分です。
- 3分間発表中の動画の編集(スライド以外の画像・音声の切り貼り、合成など)は不可です。発表開始前及び終了後の切り取りなどは可とします。
- 動画開始から終了まで、3分5秒以内に収めて投稿してください。3分5秒を超えた動画は、審査対象外となる場合があります。
- 動画の質は、審査基準には入りません。
- スライド1頁は全画面の4分の1程度以上を占める大きさとし、スライドを背景に設定する、または編集ツールなどを使用して動画上に配置するなど、上記「良い例」と「悪い例」を参考に準備してください。
- 発表者及びスライド以外の背景部分は、無地・単一色としてください。
- 発表者は、発表開始から終了まで、少なくとも胸部以上を映し、顔の表情がわかるように、正面のカメラを向いて発表してください。表情が分かるように、明るい部屋などで撮影してください。
- 発表中は、スライドとの位置関係などから立ち位置を考えてください。
- 動画ファイルは、縦横比16:9(Zoomデフォルト)のmp4形式で作成してください。また、動画の中で使用するスライドも、縦横比16:9・横で準備してください。
- 作成した動画をYouTubeにアップロードしてください。公開設定を「限定公開」とした上で、動画のアドレスを動画投稿フォームに入力してください。

# 7.参考情報・その他留意事項

## 参考情報

未来博士3分間コンペティション PR動画

<https://youtu.be/G9aCFidSPLs>

未来博士3分間コンペティション 過去大会受賞者発表動画

[https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/hiraku3mt\\_pastwinners/](https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/hiraku3mt_pastwinners/)

未来博士3分間コンペティション2019 プレゼン研修（広島大学・徳島大学）

[https://youtu.be/w2IjkHN5\\_G8?t=1491](https://youtu.be/w2IjkHN5_G8?t=1491)

## その他留意事項

### 個人情報の取り扱いについて

- エントリー／動画投稿時にご提供いただいた個人情報は、運営事務局で「広島大学個人情報の取扱いに関する規則」に基づき適正に管理し、情報の漏えい防止に努めます。
- 個人情報の利用については、応募／登録に関する確認事項の連絡、ホームページやコンペティション当日の配布資料、選考、受賞者の発表などをはじめ、未来博士3分間コンペティションを円滑に進行させること、および「[未来を拓く地方協奏プラットフォーム\(HIRAKU\)](#)」の各種イベントやセミナーなどに関する情報のご案内にのみ利用いたします。
- 投稿動画は、特別協賛・協賛企業を含む大会関係者が視聴します。
- 特別協賛企業動画賞の受賞者に対しては、運営事務局から当該連絡先情報を提供の上、当該企業から直接連絡をすることがあります。また、協賛企業からインターンシップや企業ツアーなどへ個別に招待される場合がありますので、その場合には、運営事務局から受賞者へ個別にご連絡します。

### 大会当日の撮影・配信について

ファイナルステージ当日(11月3日)は、発表の様様を写真や動画で撮影するとともに、インターネット上でライブ配信する予定です。また、後日大会公式HPなどで公開を行いますので、ご承知おきください。

### その他

- 審査過程や審査結果などについて、個別のお問い合わせには応じられませんので、ご承知おきください。
- 大会出場者には、次回以降の未来博士3分間コンペティションの運営やHIRAKU事業の広報活動にご協力をお願いする場合があります。

### お問い合わせ先

未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局(HIRAKU3MT2021 Operating Office)

〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学グローバルキャリアデザインセンター

TEL:082-424-6213 E-mail:[hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp](mailto:hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp)